



金沢大学学術情報リポジトリ KURA の公開について

【はじめに】

現在、世界の主要大学で「機関リポジトリ」（別紙1）の設置が進んでおり、我が国でも国立情報学研究所（別紙2）のCSI委託事業を機に、機関リポジトリの構築が進展しています。

本学では、これを「金沢大学学術情報リポジトリ（英文名 Kanazawa University Repository for Academic resources, 略称KURA（クラ））と名付け、このたび、サービスを開始しました。

【KURAの概要】

KURAとは、一言で言えば、金沢大学の研究成果を世界に向けて公開する電子版の書庫です。この書庫のことをリポジトリといいます。

KURAは、本学教職員が、教育・研究活動の結果として生み出した学術論文、紀要等の学術的な情報（コンテンツ）を①電子的な形態で恒久的に保存することと、それを②インターネット上で公開するといった2つの機能を併せ持ったシステムです。

【KURAの3つの目的】

1. 教育・研究成果のショーケース

金沢大学の教育・研究成果をKURAというインターネット上のショーケースに入れて無料公開することで、日本海側の基幹大学としての社会的な責務を果たします。

2. 大学紀要等の新たな発信形態の提供

紙媒体で発行してきた金沢大学の紀要等の電子媒体化を促進するとともに、速報性・公開性を高めます。

3. 学術コミュニケーションの改革

金沢大学の研究者が学術雑誌に発表した論文をKURAに登録することで、閉鎖的と言われていた学術コミュニケーションの改善に貢献します。

【KURAの効果】

KURAに登録されている論文等は、JuNii（国立情報学研究所）、OAIster（ミシガン大）、Google Scholarといった外部のデータベースからも検索できるようになるため、世界中からだれでも難なく見つけることができます。一方研究者にとっては自分の名前や研究成果が世界に知られるといったメリットがあります。

【KURAに収録されるコンテンツ】

● 収録対象

金沢大学の教職員、大学院生等が学術雑誌*、学内紀要等に発表した論文の電子版

*90%以上の海外出版社が著者最終稿の掲載を認めています。

● 現在の件数

2006年6月12日現在、学内紀要論文を中心に1,275件の論文を登録済みです。

【今後の予定】

- 平成18年度は約2,000件、平成19年度は約4,000件のコンテンツを収録予定です。

【その他】 サービスURL <http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp:8080/dspace/>

※ 金沢大学附属図書館のページ (<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp>) からアクセス可

【お問い合わせ先】 金沢大学 情報部情報企画課長 木下 聡

情報部情報企画課情報企画係長 橋 洋平

Tel: 076-264-5204 E-mail: inkikaku@ad.kanazawa-u.ac.jp